

国連主催未来サミット (Summit for the Future)

- 「国連創設75周年記念に関する宣言」 (2020年9月)
⇒12のコミットメント
- 「私たちの共通の課題 (Our Common Agenda) 」 (2021年9月)
- 「新・平和への課題 (New Agenda for Peace) 」 (2023年7月)
⇒12のアクションを勧告 (アクション1が核廃絶)
- **国連主催「未来サミット」 (2024年9月)**
⇒ 前書きと5つの章からなる行動志向の「**未来のための協定(Pact for the Future)**」をまとめる予定。
*5つの章：①「持続可能な開発と開発のための資金調達」、②「**国際の平和と安全**」、
③「科学・テクノロジー・イノベーション・デジタル協力」、④「若者・将来世代」、
⑤「グローバル・ガバナンスの变革」

グローバルアライアンス 「持続可能な平和と繁栄をすべての人に」

「『脱核兵器』と持続可能性 ポストSDGsに向けた転換と移行のための課題とビジョン」を公表（2022年4月）

= 『脱核兵器』の実現なしに持続可能な世界はあり得ない
（すなわち、「持続可能な地球や繁栄は、平和と安全保障の要素を抜きにしては実現し得ない」）

核兵器のない持続可能な世界を実現するためには、

「核兵器の廃絶に向けた転換」と

「核兵器を必要としない世界に向けた転換」

という二つの角度から、

「公正な移行」を確保しつつ、パラダイム転換をはかる必要がある。

= 核兵器をなくすためには、核兵器に関する議論だけではなく、社会システムも変えていかななくてはならない。

【参考】 <https://hiroshimaforpeace.com/global-alliance/>

『脱核兵器』と持続可能性

ポストSDGsに向けた転換と

移行のための課題とビジョン

へいわ創造機構ひろしま

(HOPe)

「公共善エコノミー(ECG: Economy for the Common Good)」

- クリスチャン・フェルバー著、池田憲昭訳『公共善エコノミー』
鉦脈社刊
- ECGは社会システムの変革を実現するための考え方と実践モデルを提供。
- 私たちの北極星（追求すべきもの）は利益（いくら儲けたが）ではなく、一人一人の尊厳が尊重されること、「善」である、がコンセプト。
- 「競争」から「協調へ」
- 世界35ヵ国、4500以上の企業やNPO、自治体、教育機関に広がっている具体的なプロジェクト（「公共善決算」をツールに社会を変える。）。

